

社協だより

2017.4.13

82号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

第40回雫石町社会福祉大会開催!!



第40回雫石町社会福祉大会

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり
～ ひとり地域のために! 地域はひとりのために!! ～



もくじ

- ◆第40回雫石町社会福祉大会 2～3 P
- ◆平成28年度歳末助け合い募金運動結果報告 4～5 P
- ◆平成29年度「民生委員・児童委員の日活動強化週間」 5 P
- ◆まちの福祉 6 P
- ◆西山保育園だよりVOL.19 ... 7 P
- ◆お知らせ 8 P

表紙写真: 3月18日(土)、第40回雫石町社会福祉大会が開催されました。

記念講演、社協職員による演劇等の詳しい内容については、2・3Pをご覧ください。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり ひとりは地域のために！ 地域はひとりのために！！

3月18日(土) 町総合福祉センターにて、第40回栗石町社会福祉大会を開催し、約250人の参加者が会場に集まり、式典が行われました。
式典終了後、「愛子おばちゃん！超高齢化社会を突っ走る!!」と題しての記念講演ならびに、「おひとりさまが行く!!」ひとりは地域のために！地域はひとりのために!!」というテーマの下、寸劇が行われました。その一部を紹介します。

記念講演 「愛子おばちゃん！超高齢化社会を突っ走る!!」

講師：中川 愛子氏



私は若い時に大病を患い、いつ死んでもおかしくない状態になりました。当時の医療技術では治療方法が確立されておらず、手術を受けても成功する確率が低い状況でした。手術を受けるうえで自分の子どもたちとも別れ、全てを失った中、「生きたい。」という思いが強くなっていました。その後、手術は成功し、療養生活を過ごしていききました。私のいた病室には同じような病状の方が集められていましたが、過去に前例のないほどにぎやかな雰囲気、他の患者も徐々に笑顔になっていくのを感じま



した。この時から「人に元気を与える雰囲気づくり」を心がけるようになり、恩返しをする思いで福祉に関わるようになっていきました。
栗石町出身の福田こうへいさんが今度、岩手県内を恩返しのため巡業することになっています。私も応援のために、栗石町内に福田さんの歌碑を建造したいと考えています。場所については現在交渉中です。栗石町から、福田さんのような素晴らしい方を誕生させるため、また民謡界の発展のためにも、次世代の育成に力を注いでいきたいと考えています。
近年、高齢者ドライバーの交通事故が多発し

ています。私も過去に皆様に迷惑をかけたことがあり、自動車免許の返納を行いました。今では、気持ちがあついています。栗石町内は広く、車がないと不便な方も多いと思いますが、デマンドタクシーなど安価で利用できるサービスも増えています。今一度免許の返納について考えてみてはどうでしょうか。
最後に、私はよく「教養がない」といわれます。今回、講師という名前をいただき、なんだか恥ずかしいと感じましたが、「今日、用がある。」からここにきて皆さんの前でお話させていただきました。これからの人生をより楽しく過ごしていただきたいと思います。

社協職員による寸劇

「おひとりさまが行く!!」
「ひとりは地域のために!!」
「地域はひとりのために!!」

今回の寸劇は、少子高齢化の進行により増加している一人暮らし高齢者の未来をテーマとして、地域に貢献する高齢者と、自由気ままに余生を過ごす高齢者を比較し、どのよう



に生活を送った方がいいのかを描いたものです。
一人暮らし高齢者が日々の生活を送るうえで地域との関係性を構築することは、安心・安全に心豊かな生活を過ごすために必要なことです。いつまでも高齢者の知識と経験が活かせ、必要とされるように生活していくことが重要となります。その中で、普段からお互いに助けたり助けてもらったりできる「お互いさま」の関係を再構築し、高齢者の孤独死や子どもたちの犯罪・事故等を未然に防ぐことがこれからの生活を送るうえで大切になります。

今回の社会福祉大会終盤には、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」に取り組むことを誓う、大会宣言が朗読されました。
次年度は、本大会終了後に、町のさらなる福祉発展を願い、関係各所の連携を深めることを目的に新年交賀会を開催する予定です。

～受賞おめでとうございます～ 栗石町社会福祉大会長表彰

社会福祉事業功労者 1名

● 畠山 秋男 氏



13年の長きにわたり、栗石町民生委員児童委員として住民の福祉増進に努めた功績。

ボランティア活動功労者 4名

● 三城 歌子 氏



15年の長きにわたり、子育て支援ボランティアとして、子どもたちが健やかに育つことのできる環境をつくり、子育て中の親御さんが安心して社会参加できるよう努めた功績。

● 小川 ゆかり 氏



13年の長きにわたり、昼食サービスボランティアとして、町内の高齢者の安否確認を行いながら、利用者へ安心安全な昼食を提供してきた功績。

● 小屋場 治夫 氏



16年の長きにわたり、福祉有償運転サポーター並びにスノーバスターボランティアとして、町内の高齢者へ安心安全な暮らしを提供してきた功績。

● 太田 正男 氏



10年の長きにわたり、スノーバスターボランティアとして、除雪活動を通じて町内の高齢者の安否確認を行いながら、安心安全な暮らしを提供してきた功績。

社会福祉団体・施設役職員永年勤続功労者 7名

● 高橋 則子 氏



特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘
36年の長きにわたり、介護現場の模範となり、職員の育成に尽力した功績。

特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘

● 村田 美幸 氏



36年の長きにわたり、介護現場の模範となり、職員の育成に尽力した功績。

特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘

● 高藤 多紀子 氏



35年の長きにわたり、介護現場の模範となり、職員への適切な助言や指導、育成に尽力した功績。

栗石保育園保育士

● 常陸 晶子 氏



38年の長きにわたり、幼児の保育・安全管理に努めるとともに、職員の育成に尽力した功績。

栗石保育園保育士

● 細川 美幸 氏



37年の長きにわたり、幼児の保育・安全管理に努めるとともに、職員の育成に尽力した功績。

栗石保育園臨時保育士

● 築場 真知子 氏



37年の長きにわたり、幼児の保育・安全管理に努めるとともに、職員の育成に尽力した功績。

栗石町社会福祉協議会訪問介護員

● 松本 千秋 氏



17年の長きにわたり、訪問介護員として在宅福祉の大切さを身をもって示している功績。

在宅介護功労者 (褒賞) 5名

多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。

● 杉田 隆子 氏



● 下川原 和子 氏



● 大和 忠夫 氏
● 小赤澤 美弥子 氏
● 茅橋 節子 氏

平成28年度歳末助け合い大口募金ご寄付の方々（敬称略）

【50,000円】 青湖苑カルチャー発表会実行委員会	岩手大崎電気株式会社 岩井建設株式会社 株式会社しずくいし	株式会社リードコナン 有限会社佐々木章設計事務所 有限会社吉田塗装工業
【30,000円】 雫石医科歯科会 社団法人康生会鶯宿温泉病院	社団法人三和会介護老人保健施設はーとぽーと雫石 丹内建設株式会社 株式会社武田菱設計	【3,586円】 雫石町立西根小学校児童会
【20,000円】 松本紀子 すてきな福祉作業所のチャリティーバザー実行委員会 在京雫石町友会	明北産業株式会社 株式会社振興設備設計	【3,300円】 長栄館
【13,000円】 雫石町ゲートボール協会	【5,000円】 岩手建工株式会社 東北体育施設株式会社 株式会社イクスル	【3,000円】 有限会社瀧沢重機建設 株式会社アオバヤ ダスキン本宮支店 株式会社白ゆり
【10,000円】 沼田歯科クリニック 株式会社丸恵電業 株式会社中村建設 株式会社グリーン・ベネフィット 株式会社興和電設 株式会社吉田測量設計 旭管工株式会社 株式会社東北工商 株式会社寿広 株式会社ビルド遠藤 有限会社中孫商店 新日本設計株式会社 北光コンサル株式会社 株式会社ナカノアイシステム 盛岡セイコー工業株式会社	マルエス工業株式会社 有限会社丸水工業 株式会社菊池工業 仙建工業株式会社 新岩手農業協同組合雫石支所 休暇村岩手綱張温泉 松ぼっくり 株式会社プリンスホテル 小岩井農牧(株)小岩井農場 株式会社NIPPO 株式会社ダイトク 雫石町シルバー人材センター 東北電話株式会社 株式会社ケーエヌ工業	一般社団法人岩手県薬剤師会検査センター ホテル森の風薫宿 雫石タクシー（有） （有）なかゆ食品 伊藤建設株式会社 有限会社アース トーバン印刷株式会社 【2,000円】 雫石地区防犯交通安全協会 株式会社三伸鋼機 株式会社富士電業社 株式会社恵工業 オリジナル設計株式会社 デイサービスセンターにこトピア雫石 奥アンツーカ株式会社東北営業所 雫石砂利工業株式会社

平成28年度歳末助け合い募金運動結果 報告

寄付金実績額	3,600,901円
(内 訳)	
行政区別募金【4,246世帯】	2,100,003円
大口（企業）募金【71社】	576,210円
歳末助け合いチャリティーショー益金	921,102円
学校募金【西根小学校】	3,586円

配分額	2,030,000円
(内 訳)	
歳末助け合い激励金配分金	2,030,000円
※差引残金 1,570,901円は、平成29年度の岩手県・雫石町の福祉活動資金に活用させていただきます。	

平成28年度歳末助け合い募金配分額（平成29年2月8日現在）

対象項目	雫石地区	御所地区	西山地区	御明神地区	合計	金額	配分額
在宅重度障害（児）者	31人	13人	24人	18人	86人	258,000円	@3,000
認知症老人介護世帯	2世帯	3世帯	3世帯	6世帯	14世帯	42,000円	@3,000
生活困難世帯	62人	59人	48人	46人	215人	1,640,000円	@5,000×人数+5,000×世帯数
雫石町身体障害者福祉協会	32世帯	34世帯	24世帯	23世帯	113世帯	30,000円	
精神障害者団体						30,000円	
福祉作業所かし和の郷						30,000円	
計	471,000	402,000	369,000	348,000	1,590,000	2,030,000円	

総額 3,600,901円

町民の皆様の心温まるご協力
本当にありがとうございました。



昨年12月1日から、全国一斉に歳末助け合い募金運動が展開され、当町におきましても、町民の皆様の深いご理解とご協力のもと、たくさんの募金が寄せられました。

皆様よりお寄せいただいた募金は、長期間にわたり、在宅で介護を必要とされる方や生活にお困りの方々等へ、各地区民生委員・児童委員さんを通じて、12月末に激励金としてお贈り致しました。

また、今回ご協力いただきました募金は、平成29年度、雫石町の福祉の発展・向上のための福祉活動資金として活用させていただきます。

皆様の心からの善意に、深く感謝申し上げます。

平成29年度「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」

全国民生委員児童委員連合会では、毎年5月12日の「民生委員・児童委員の日」から1週間を「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」と定めています。

本年の「活動強化週間」は、制度創設百周年という大きな節目の年でもあります。

ご自分のこと、ご近所のことでは何か困ったことがあれば民生委員・児童委員にご相談ください。

雫石町民生委員児童委員協議会事務局（雫石町社協内）

こんな悩みありませんか？

生活の不安

- ひとり暮らしでさみしい
- 高齢者二人で、何かあった時に不安
- 災害が起きた時、避難を助けてほしい

お金のこと

- 生活費がない
- 子どもの進学費がない
- 定年退職後の生活費が不安

福祉サービスのこと

- 困っているけど、どこに相談していいのかわからない...
- 障がい者手帳を申請したいのですが...
- 配食サービスを使いたいのですが...

ひとりで悩まずに相談してください



介護のこと

- 介護ばかりで自分の時間がない...
- 介護保険はどうやって使うの？
- おじいちゃんのために住宅を改修したいけどお金がありません...

ご近所で気になることありませんか？

ご近所のこと

- 最近、〇〇さんの姿を見かけない
- 〇〇さんの家に何日も新聞がたまっている
- 〇〇さんが送りつけ商法の被害にあっているみたい

虐待かも...

- 〇〇さんの家の怒鳴り声と子どもの泣き声がすごい...
- 〇〇さんの子どもが何日も服を変えていない...
- 〇〇さんの年金が同居の親族に使い込まれているみたい

子育てのこと

- 子育てで相談できる人がいない...
- 子育てがうまくいなくて不安...
- 子どもをたいてしまいたい...
- 子どもが学校に行かなくなった...

行政区募金で二千元以上のご寄付を頂いた方々（敬称略）

≪ 100,000円 ≫ 太田 司	櫻田 章夫 大和 潔 立石 覚 中野 勇 吉井 主税 山崎 正美 徳田 一 村橋 聡 茅橋 正男 中松 尾勝 上野 宏彦 藤村 正詩 深谷 幸孝 廣瀬 孝 三葉 久米 南野 久美相 中村 稔 野々村 清孝 袖林 恒子 藤谷 地アサ子 下田 裕昭 小山田 和敬 関達 一強 安達 憲康 瀬川 秀雄 田村 俊則 杉本 明夫 中川 泰夫 中原 サチ子 中川原 照友 煙山 勝	木村 稔 山政 輝 細川 典子 高田 克巳 柏木 哲 原 誠 横手 信行 南野 久美相 中村 稔 野々村 清孝 袖林 恒子 藤谷 地アサ子 下田 裕昭 小山田 和敬 関達 一強 安達 憲康 瀬川 秀雄 田村 俊則 杉本 明夫 中川 泰夫 中原 サチ子 中川原 照友 煙山 勝	栃内 巖 五日市 貞一郎 佐々木 幸作 千葉 幸志 佐藤 広直 村上 孝司 高橋 孝司 立花 勇蔵 沼田 雪雄 横手 清一 藤田 淳光 山田 京子 杉田 長一徳 長坂商店 長坂一徳 高橋 健治 沼田 京子 大川 直英 細川 英敏 向井 繁三 高橋 喜通 高石 敬美 石塚 眞弘 八重樫 康武
----------------------	--	---	---

西山保育園の卒園式が3月18日に行われ、今年度は11名の園児が卒園しました。門出の言葉では「お父さん、お母さん、地域みなさんに見守られてこんなに大きくなりました。これからも応援よろしくお願いします。」と大きな声で宣言しました。4月から、ピカピカのランドセルに夢と希望をたくさん積めて、輝く未来へと歩む子どもたちです。

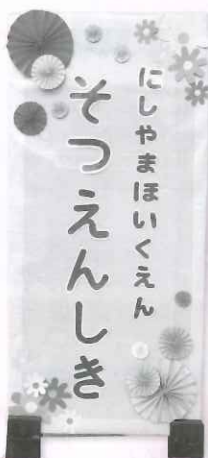
これからも地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、地域の宝である子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。



第7回 西山保育園卒園式



明日へと向かって、羽ばたけ！西山っ子！！



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

知 ひとり親家庭のみなさんの子育てを応援します！

当社会福祉協議会では、子育てに関する不安や負担に感じている家庭に対して、安心して子育てができるように、子育て支援事業を展開しています。また、ひとり親家庭の生活支援として、託児の一部無料化を実施しておりますが、平成29年度から無料で利用できる時間数が増え、経済面・精神面ともに安心して子育てできる環境に努めます。

- ①対象になる年齢
・0歳から12歳（小学校6年生）まで
- ②無料で利用できる時間
・午前8時～午後8時
- ③無料で利用できる時間数
ひとり親家庭のみなさんの託児一部無料化の時間数を1か月24時間から48時間に増やすことにより、経済面・精神面ともに安心して子育てできる環境に努めます。



- ④託児場所
・雲石町総合福祉センター内「子育てルーム『ぽけっと』」
- ⑤利用される方は登録が必要です。
・利用される方は事前に利用登録申請書を提出していただきます。
・登録申請書は雲石町社会福祉協議会（町総合福祉センター）にあります。
- ⑥利用にあたって
・事前予約が必要ですので、雲石町社会福祉協議会（692-2230）までご連絡ください。
・食事、おやつ等必要なものは利用者がご準備下さい。

福祉サービスいろいろ情報 日常生活自立支援事業

（愛称：あんしんねっと）ってな～に？

毎日の暮らしの中には、いろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをし、地域で安心して日常生活が送れるようにサポートします。



財布や通帳を置き忘れる。支払いや手続きが不安だなあ。

どんなサービスがあるの？

- 日常的な金銭管理サービス
- 福祉サービスについての情報提供
- 福祉サービスの利用申込み援助
- 書類などの預かりサービス
- 福祉サービスの利用料などの支払い手続き
- 苦情解決制度の利用サービス

- ①相談
相談は無料です。相談内容の秘密は厳守します。
- ②訪問
専門員がお宅を訪問し、お困りのことなどを伺います。
- ③支援計画作成・契約
ご本人の意向を確認しながら、専門員が支援計画を立てます。
- ④援助の開始
契約に基づいて生活支援員が援助を行います。

サービスについて、詳しく知りたい方または、サービスをご利用の方は、お近くの社会福祉協議会まで、お気軽にお問い合わせください。
☆照会先 雲石町社会福祉協議会（TEL: 692-2230）

寝たきりにならないために！！

～平成28年度雲石町老連単体クラスリーダー研修会～

3月1日（水）雲石町総合福祉センターを会場に、平成28年度雲石町老連単体クラスリーダー研修会が開催されました。

当日は、町内老人クラブ会員103名が参加し、「寝たきりにならないために普段からできること」と題して財団法人いわてリハビリテーションセンター機能回復療法部の下杉祐子氏に講義ならびに実技指導を



「座り方一つでこんなにも違うもんなんだー」と実感！

していただきました。自宅の日頃からできる呼吸法や健康動作を学んだ皆さんからは、「毎日10分でもやれば健康になるな」「なるほどねー」といった声が上がっており、満足した様子で研修会を終えました。

このひとに聞く！

ふ だんの く らしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



しもむら としひで
下村 俊英さん (51歳・盛岡市在住)

プロフィール

橋場小学校副校長。盛岡市出身。2年前に橋場小学校へ赴任。奥さんと子ども3人の5人家族。趣味は観葉植物を育てることで、休日は観葉植物の手入れをすることが楽しみ。

●福祉を通じて子どもたちに
学んでほしいことは？

相手を思いやる気持ちを養ってほしいと思っています。福祉といえばお年寄りに優しくするといった風に捉えがちですが、お年寄りに限らず、友達同士、あるいは生活の中で関係のある方に思いやりを持って接してほしいです。どんな小さなことでも自分ができることを自分で見つけて、進んで行動してほしいです。やったことは自分に返って来ますよね。それに気づいて、人の為に何かできるような、「思いやりを持つこと」で皆が幸せになるんだよ」と感じています。

●雲石町について思うことは？

雲石町は良い所がいろいろあると思っています。雲石町では当校のことしか知らないですが、かわいくて素直な子ども達のがびのびと勉強し、自然の中で元気に遊んでいます。また、保護者の方や地域の方がすごく協力的で、地域一体となって行事を開催する事が多い地域だと感じています。それも、お互いがやってあげているという感じではなく、喜んで参加して下さっています。当校だけではなく、きつと雲石は人と人、地域同士の結びつきがすごく強い地域だと思います。今後も地域との結びつきを大事にできる雲石町であってほしいと思います。

寄付金

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成28年12月から2月までの間に、寄せられた寄付について、お知らせいたします。)

○曹洞宗一九会様

40,679円

(町の福祉のために)

○匿名希望

40,000円

(町の福祉のために)

○山びこ工房 滝沢 昭子様

5,000円

(町の福祉のために)



編集後記

あつという間に新年度を迎えてしまいました。月日が経つのは本当に早いものだと感じております。平成29年度も皆さんから愛される社協を目指して社協職員一同、地域福祉の向上に取り組みんでいきますので、変わらぬご支援をお願い致します。(村)

平成28年度日赤社資・赤い羽根共同募金追加納入のお知らせ

社協だより第80・81号にて、町民の皆さまにご報告いたしました標記について、追加のご協力がございましたのでお知らせいたします。皆様の温かい善意に感謝申し上げます。

①平成28年度日赤社資運動結果

・(有)アース様

10,000円

総額 **2,478,100円**

②平成28年度赤い羽根共同募金運動結果

・町内募金箱設置募金(町内6カ所)

3,166円

・自動販売機設置募金(町内2カ所)

8,982円

総額

2,458,081円